

XII 令和3年度に行う試験研究課題と関連事業

安全で資源循環利用による健全な森林育成、低コスト林業の推進、県産材の加工利用技術の開発等に関わる試験研究等を行う。

試験研究項目・課題名	予算額 (千円)	財源	研究 期間	研究内容
1 健全で豊かな森林づくりに関する研究				
(1) ハイブリッド無花粉スギの創出 	340	県	H24～ R3	耐虫性及び耐雪性品種などに無花粉形質を取り込んだ付加価値の高いスギ造林品種を創出する。
(2) 早生広葉樹等の育苗及び植栽技術に係る実証試験 	406	県	H29～ R3	早生樹を利用した短伐期林業の技術体系化に必要な育苗・育林技術開発、及び有用広葉樹の育林技術を確立する。
(3) 樹木根系を考慮した防災林配置技術の開発 	350	国 (受託)	H30～ R3	森林立地環境と樹木根系の分布特性を明らかにし、立地環境に応じた防災林配置技術を開発する。 《共同研究》森林総研、岐阜県、福岡県
(4) 山地災害リスクを考慮した適正な作業システムの選定技術の確立 	505	県	R3～ R6	森林施業による山地災害のリスクを抑制するため、車両系・架線系等の作業システムや作業ポイントの選択・設定手法を検討・開発する。
(5) 鳥取県でのカラマツの育苗・植栽技術の確立 	512	県	H31～ R4	カラマツを鳥取県の新たな造林樹種にするため、育苗試験、植栽試験、シカ食害実態調査及び忌避効果検証試験を行う。
(6) 再生林の推進に向けたコンテナ苗の通年植栽試験 	478	県	R3～ R6	再生林の低コスト化を推進するため、皆伐地拵え作業と一貫での造林が可能なコンテナ苗について、植栽可能時期や好適条件を明らかにする。
(7) 小型ドローンレーザーによる林分解析技術の確立 	854	県	H31～ R3	レーザー計測装置を搭載できるドローンの試作・飛行試験を行い、俯瞰的な視点で効率的に精度良く計測できる方法を確立する。
(8) 原木シイタケの虫害に関する研究 	698	県	R2～ R4	シイタケオオヒロズコガ類成虫の捕獲方法及び、シイタケ子実体からの幼虫除去方法の開発を行う。
小 計	4,143			

試験研究項目・課題名	予算額 (千円)	財源	研究 期間	研究 内容
2 県産材の利用拡大に関する研究				
(1) とっとりの新しい CLT の製造・利 用技術の確立 	943	県	H31～ R3	厚板を原材料としたCLTの製造技術を確立する。また、製品の構造性能を明らかにすることで建築での利用方法を提案する。
(2) 防火・防災性を 付与した LVL 内 装材の開発 	729	県	H31～ R3	LVL 内装材に適した防火・防災性を付与するため、薬剤の種類、処理方法等を検討し、製造技術を確立する。
(3) 県産材の建築用 途を広げる JAS 規格材の利用技 術に関する研究 	910	県	R2～ R6	県産材の機械等級区分製材としての性能分布や接合性能を明らかにし、中規模建築や非住宅での構造設計に役立つ基礎資料とする。
(4) 樹齢に応じた「県 産スギ材の良さ」 に関する研究 	719	県	R2～ R6	適材適所での利活用の推進による県産スギ材の付加価値販売を目標に、県産スギ材の樹齢に応じた材質特性(良さ)を数値的に明らかにする。
(5) 燃料チップの地 域内安定供給体 制整備のための 研究 	786	県	R2～ R4	地域内での木質バイオマスのエネルギー利用を推進するため、チップ原木の簡易な含水率判定手法の開発と山林内での原木乾燥マニュアルを作成する。
小 計	4,087			
《試験研究費計》	8,230			
《管理運営費》	19,748			
《施設整備費》	2,673			
合 計	30,651			

2 関連事業

事業名	担当者
(1) 林木品種改良事業	玉木 操、池本 省吾
(2) 樹苗養成事業	池本 省吾、玉木 操
(3) 森林病虫害防除事業	三浦 功次
(4) 環境省酸性雨モニタリング事業	山増 成久

3 臨時的調査研究事業

生産現場の突発的な技術課題の解決、本格的な試験研究を実施する前の事前調査、研究素材の蓄積や研究員の資質向上等に必要試験研究を、迅速かつ柔軟に実施する。